

平成21年第 1回伊仙町議会臨時会会議録
平成21年 1月16日（金曜日） 午前11時10分開議

1. 議事日程（第 1号）

- 開会の宣告
- 開議の宣告
- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 承認第 1号 伊仙町国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について
- 日程第 4 議案第 1号 平成20年度伊仙町一般会計補正予算（第 6号）について

（午後～）全員協議会の開催

- 伊仙小学校校舎建設の計画推進状況について（現地研修）
- 伊仙小学校の仮校舎の推進状況について（徳之島農業高校跡地利用計画）
- 犬田布中学校の校舎建設推進状況について
- 伊仙町集中改革プランの進捗状況について（平成17年度～21年度）

1. 出席議員（13名）

議席番号	氏名	議席番号	氏名
1番	樺山一君	2番	幸浩三君
3番	富岡壮史君	4番	永岡良一君
6番	伊藤一弘君	7番	杉並廣規君
8番	琉理人君	9番	上木勲君
10番	幸山佳津也君	11番	美島盛秀君
12番	上木廣志君	13番	常隆之君
14番	具伊佳彦君		

1. 欠席議員（1名）

5番 清水喜玖男君

1. 出席事務局職員

議会事務局長 松田一郎君 議会事務局書記 佐平勝秀君

1. 説明のため出席した者の職氏名

職名	氏名	職名	氏名
町長	大久保明君	副町長	中野幸次君
総務課長	稲隆仁君	企画課長	四本延宏君
税務課長	穂浩一君	町民生活課長	仲武美君
保健福祉課長	益岡稔君	経済課長	中熊俊也君
建設課長	上木千恵造君	耕地課長	富悦啓君
水道課長	幸孝一君	環境課長	牧徳久君
農委事務局長	大山秀光君	教育長	時任武男君
教委総務課長	窪田良治君	社会教育課長	幸多健策君
学校給食			
センター所長	吉見誠朗君	選管書記長	岩井哲之助君
ほーらい館長	明勝良君	総務課長補佐	池田俊博君
総務課財政係長	田島輝久君		

開 会（開議） 午前 11 時 10 分

○議長（上木 勲君）

ただいまから、平成21年第 1回伊仙町議会臨時会を開会します。
ただちに本日の会議を開きます。

○議長（上木 勲君）

日程第 1、会議録署名議員の指名をします。
会議録署名議員は、会議規則第 120条の規定によって、14番、具伊佳彦議員、1番、樺山 一議員
を指名します。

○議長（上木 勲君）

日程第 2、会期の決定について議題とします。
本臨時会の会期は、本日 1月16日の 1日としますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（上木 勲君）

異議なしと認めます。
したがって、本臨時会の会期は、本日1月16日の 1日と決定しました。

○議長（上木 勲君）

日程第 3、承認第 1号、伊仙町国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について
及び日程第 4、議案第 1号、平成20年度伊仙町一般会計補正予算（第6号）についての 2件を議題と
します。

提案理由の説明を求めます。

○町長（大久保 明君）

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

提案理由の説明をいたします。

平成21年第 1回伊仙町議会臨時会に提案いたしました、承認第 1号及び議案第 1号について、ご説
明いたします。

承認第 1号は、伊仙町国民健康保険条例を早急に整備する必要性が生じ、地方自治法第 179条第 1項
の規定により、平成20年12月26日付けで専決処分いたしましたので、これを議会にご報告して承認を
求めるものであります。

議案第 1号は、平成20年度一般会計の既定の予算に緊急に予算措置をする必要性が生じたので、
地方自治法第 218条第 1項の規定により、提案してあります。

以上、今議会に提案してあります承認第 1号、議案第 1号の提案理由の説明とします。

ご審議賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（上木 勲君）

日程第 3、承認第 1号、伊仙町国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認についてを議題とします。

質疑を行います。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（上木 勲君）

他に質疑なしと認めます。

質疑を終わります。

これから承認第 1号について討論を行います。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（上木 勲君）

討論なしと認めます。

これから承認第 1号を採決します。

お諮りします。

承認第 1号について、承認することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（上木 勲君）

異議なしと認めます。

したがって、承認第 1号、伊仙町国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認については、承認することに決定しました。

日程第 4、議案第 1号、平成20年度伊仙町一般会計補正予算（第6号）について質疑を行います。

○7番（杉並廣規君）

できましたら、総務課長、詳細説明をお願いします。

○総務課長（稲 隆仁君）

平成20年度一般会計補正予算（第6号）について説明をいたします。

平成20年度伊仙町一般会計補正予算（第6号）は、次の定めるところによる。

既定の歳入歳出予算の総額52億 7,178万 8,000円に歳入歳出それぞれ 6,008万 6,000円を増額し、歳入歳出予算の総額を53億 3,187万 4,000円とするものでございます。

6ページをお願いいたします。

歳入。

款 9、地方交付税、補正前の額27億 8,376万 6,000円に補正額 991万 2,000円を減額し、27億 7,385万 4,000円とするものでございます。

款13、国庫支出金、目、総務費国庫委託金 9万円に補正額 5,671万 1,000円を増額補正し、5,680

万 1,000円とするものでございます。これは新規で、ICT活用モデル構築事業費で計上してございます。

款14、県支出金、目、総務費県委託金、補正前の額 1,422万 6,000円に 5万 8,000円を増額補正し、1,428万 4,000円とするものであります。これは、県知事選挙によります事務費の精算による増額でございます。

款19、諸収入、目の雑入でございますけれども、6,485万 8,000円に 142万 9,000円を増額補正し、6,628万 7,000円とするものでございます。これは、まちづくり交付金事業に伴う、道路拡張に伴う補償費でございます。

款の20、町債、3、過疎対策事業債 2億 9,930万円に 1,640万円を増額補正し、3億 1,570万円とするものでございます。これは、まちづくり交付金事業でございます。

目 6の公営住宅施設整備事業債 1億 5,130万円に 460万円の減額補正を行い、1億 4,670万円とするものでございます。

7ページをお願いいたします。

歳出。

総務費、1、総務管理費、目の一般管理費でございます。補正前の額 3億 9,348万 1,000円に151万 4,000円を増額補正を行い、3億 9,499万 5,000円とするものでございます。

内訳につきましては、賃金 137万 3,000円、旅費14万 1,000円、費用弁償、これは管理職研修会の講師の費用弁償でございます。

目 4、財産管理費 1,154万 4,000円に 155万 5,000円を増額補正し、1,309万 9,000円とするものでございます。これは先ほど雑入の欄で歳入でご説明申し上げましたとおり、まちづくり交付金事業耳付 1号線の改良舗装工事に伴う補償工事、旧母子センターの浄化槽の移転工事費でございます。

まちづくり交付金事業の耳付 1号線の道路拡張に伴う、旧母子センターの敷地内の浄化槽の移転の補償工事でございます。

項の選挙費、先ほどの 599万 3,000円に 5万 8,000円、事務精算による増額補正で 605万 1,000円とするものであります。

6の監査費につきましては、83万 6,000円に11万 5,000円増額補正し、95万 1,000円。これは監査委員の研修に要する旅費でございます。

款、民生費、項 1、社会福祉費の13、地域ICT活用モデル構築事業費として新規事業として採択されております。

内容につきましては、報償費30万 8,000円、旅費59万 5,000円、需用費25万 2,000円、地域ICT活用モデル構築事業委託費として 5,513万 2,000円。使用料49万を計上してございます。

8ページをお願いいたします。

款 7、土木費、2、道路橋梁費の目 5、まちづくり事業費 5億 3,832万円、補正額内部財源振り替えと内部流用でございます。

公有財産購入費及び備品購入費を減額し、工事費として 2,629万 2,000円を計上するものでございます。

4の住宅費につきましても内部振り替えで流用でございます。

消防費 516万 1,000円に 6万 7,000円増額補正し、522万 8,000円とするものでございます。これは、防災行政無線の電波使用料並びに防災情報ネットワーク負担金の不足による増額補正でございます。

以上、52億 7,178万 8,000円に、補正額 6,008万 6,000円を増額補正し、53億 3,187万 4,000円とするものでございます。

よろしくお願いいたします。

○7番（杉並廣規君）

6ページの 2の過疎対策事業債 1,640万円増額になっているんですが、どの事業なのか、お尋ねをいたします。

○総務課長（稲 隆仁君）

杉並議員のご質問にお答えいたします。

6ページの町債費 1,640万、まちづくり交付金事業として計上してございますけれども、ページ 8ページの歳出、まちづくり事業費の中で、17節の公有財産購入費 1,391万 5,000円、18節の備品購入費 1,120万 7,000円が起債の対象外ということでしたんですけれども、今回、工事費に流用、2,629万 2,000円としたことにより、起債対象ということによっての増額になった次第でございます。以上です。

○7番（杉並廣規君）

8ページの 5のまちづくり事業費 2,629万 2,000円の工事請負が組まれておりますが、今年度で間に合うのかどうか、お尋ねをいたします。

○建設課長（上木千恵造君）

工期的にはちょっと短いんですけども、工事としては 3月いっぱい完了する予定で今、計画しているところでございます。

○7番（杉並廣規君）

ぜひ年度内で完成するようにお願いをいたします。

次に 3の防災まちづくり事業費の14、使用料及び賃借料ですが、防災行政無線電波使用料 1万 3,250円計上されているんですが、当初で 1万 8,000円組まれておりますが、当初で見積りできなかったのかどうか、お尋ねをいたします。

○総務課長（稲 隆仁君）

防災行政無線の使用料、前年度におきまして免許更新をなされたそうで、その際による増額が今年度からあったということでございます。

以上です。

○議長（上木 勲君）

質疑ありませんか。

○12番（上木廣志君）

8ページの目 1の住宅管理の中の需用費が32万 2,000円、公営住宅修繕費というふうに計上されておりますが、今、皆さんもテレビ等でご存じのように日本全国、世界的でございますけれども、大変失業者がもう多くなっている。そして住む所がないということで路地生活やらをしている日本全国で多々あるようでございますけれども、ここら辺で、町長、この教員住宅、あるいは町営住宅のトイレなど、ポットンでも良いと思うんですけども、そういう所を修理して、ある程度の予算を計上して修理をして、ホームレスとかになっている方々、仕事もない、失業されている方々をなんとかして島に呼び寄せ、伊仙町に呼び寄せて、こうすることによって人口増に私はつながるのじゃなからうかと。このように思っておりますが、まず伊仙町が奄美群島の中での先端を行くんだよという、そういう発想をしてみたらどうかと思っておりますが、町長、どうでしょうか。補修予算をちょっと計上して。

○企画課長（四本延宏君）

今、上木議員の質問にお答えします。

今、補正という形じゃないんですけども、21年度の事業で募集があったものですから、それに対して農高の分を、今、全部取ると分かりませんが、11戸の分を21年度の新規事業として集落活性化事業の定住促進事業というのがございまして、総務省の方ですけども、そちらの方を申し込んで、2月の頭に県の方と総務省の方でヒアリングがありますので、その辺でなんとかできて、21年度事業に当初予算に組み込められたらと思っております。11戸を対象に今、修繕費で 2,200万くらいを修繕費として計上して、半額補助がありますので、その事業費を申し込んでいるところです。以上です。

○12番（上木廣志君）

そういったことで、杉並議員からもいろいろあったけれども、徳之島町・天城町がやっている、シルバー人材センターと言うか、ここら辺でまた立ち上げて、きびの収穫時期、あるいは馬鈴薯の収穫時期、こういったこと等に、私は安い、賃金には鹿児島県の最低賃金はいくらというようなこともありますけれども、やはりそこにひっかからないようすることによって、いわゆる伊仙町の 1番産業でありますところの農業所得の向上することによって伊仙町の活性化につながるのじゃなからうかと、このように思っておりますので、今後ともそういうことにも、これもゆっくりゆっくりではだめですよ、早くしなくちゃ。そういうところで、今、企画課長が説明にもあったんですが、2,200万くらいかけて21年度ということでありましたけれども、これを額面はある程度増やしても、農高跡地の校舎辺りに、本土から農作業の手伝いという形ででも受け入れ体制を作ることによって、ああ、この島は良い島だ、暖いし、良い島だというふうになっていけば、私は伊仙町は自然に人口増につながるのじゃなからうかと、このように思っておりますので、農高跡地の使われない校舎などは、そういったところに向けて、県・国もこれは否とは今の時点では言えないだろうと私は思っております。そう

ということで町長、企画の説明はありましたけれども、そういうことに目を向けて、農家の所得向上、そして人口増という活性化に向けて取り組むという考えは、町長、どうでしょうか。

○町長（大久保 明君）

上木議員の提案したとおり、考えてみます。

先ほども企画課長の説明のあった農高から払い下げる教員住宅に対しましては、家賃に関しまして、ある程度町が補助という形で積極的に、住宅に来る方々は、それは島内だけでなく、おっしゃるとおり愛知県とか全国から募る、島出身者ばかりでなくて、もう既に島へのIターンの方々の話も何人か来ておりますので、しっかりとした受け入れ体制をしていくということで考えていきたい。早急に。

もう1つは、農高跡地に関しましては、議員のメンバーも含めて、今、伊仙小学校のこの仮設校舎ということでほぼ決定して、ほぼ20年度補正でいけるような状況、確立が高くなってまいりましたので、それが2月に決定いたしますので、その後1年、21年度中に伊仙小学校の仮設校舎が必要ですので、その後、22年度から継続して農高跡地の活性化事業の提案をしなければなりませんので、それは2月で小学校の20年度の補正で決定した後に早急に立ち上げて、夏までには利用計画書を県に申請をしていく予定でありますので、その中で、今、提案があった滞在型施設ということも、その中で盛り込んでいく予定であります。

あと高齢者の方々のシルバー人材育成に関しましては、確かに今、大きな制度もいろいろ変わっているといます。シルバー人材センターに関しては現在のところ、補助事業としては、今、当面中断になっておりますので、新たな人材育成の活性化ということで、この前、伊仙町が申請して許可が出ましたパッケージ事業の中で盛り込めていけるようにもまた検討をしていけるのではないかと思います。

そのような形で取り組んでいきたいと思っております。

○12番（上木廣志君）

町長、伊仙町が、私が今までで質問したようなことをやることによって、あるいはホームページ辺りにそういうのを立ち上げると、私は、全国から伊仙町は注目される町になるんじゃないかなと思うので、発想を新たにして、こういうことに取り組んでいただきたい。

まず例を1点だけ挙げてみますと、今、伊仙町にもホームレスみたいな方が入っているんですよ。車の中で寝泊まりしている。軽の乗用車の中で。それらを今度は伊藤議員が、家を借りてなんとかしようかな、町の住宅なんかないかなという声掛けもやっているようですけども、やはりそういう方などは雇えば、5,000円で現在雇われるんですよ。もう5,000円でも4,000円でも飛びついてくるくらい。

もう何十日か車の中で生活している人もおるという話を私は伊藤議員から聞きましたので、そういったことで、やはり伊仙町の住宅の空き家、あるいは教員住宅の問題はどれくらい進んでいるか分かりませんが、早急に進めていただいて、ちょっと金をかけてできるのであれば、そういう方がおれば僕は家賃くらいだけでも良いんじゃないかなと思うんですよ。人口増、農家の所得向上につな

がるのであれば。そういうこと等を今後、早急に進めていただきたいということで、私の質疑は終わります。

○町長（大久保 明君）

先ほど委員会室で説明があったかも知れませんが、この地域ICT活用モデル事業で、ほーらい館、そして「百菜」、町全体のホームページの立ち上げをこの事業の中に含めていくということで今決まっておりますので、大々的に広報をしていきたいと思えます。

○議長（上木 勲君）

他に質疑ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（上木 勲君）

質疑なしと認めます。

質疑を終了します。

これから議案第1号について討論を行います。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（上木 勲君）

討論なしと認めます。

これから議案第1号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（上木 勲君）

異議なしと認めます。

したがって、議案第1号、平成20年度伊仙町一般会計補正予算（第6号）については、原案のとおり可決することに決定しました。

本臨時会に提案された議案は、全て終了しました。

これで会議を閉じます。

平成21年第1回臨時会を閉会します。

ご苦勞様ございました。

散 会 午前11時43分

地方自治法第 123条第 2項の規定により、ここに署名する。

伊仙町議会議長 上 木 勲

伊仙町議会議員 具 伊 佳 彦

伊仙町議会議員 権 山 一